



令和5年9月4日 <9月号>

石川県河北郡津幡町
字加賀爪又6番地1
TEL 076-289-2213
FAX 076-288-5535



3年生「最高学年のプライド」を胸に
2年生「学校の顔」としての自覚を
1年生「学校の柱」としての自覚を



夏休みが終わり、2学期が始まりました。生徒の皆さん、教職員が大きな事故や怪我もなく、元気に登校してくれたことをとても嬉しく思います。この夏休みに開催された北信越大会や全国中学校体育大会、コンクール等の大会では、出場した津幡中生の選手たちは強豪相手に果敢なプレーを見せてくれました。既にほとんどの部活動では、リーダーのバトンは3年生から2年生に引き継がれています。部活動以外にも様々なことが引き継がれます。**3年生の皆さん**、学習はもちろん各種行事において「最高学年のプライド」を1、2年生に見せてください。そして、**2年生は「学校の顔」**に、**1年生は2年生を支える「学校の柱」**に成長してくれることを期待しています。



全中陸上女子走幅跳 優勝

意識してよいところを見て・見付けて、積極的に言葉にしよう

完璧な人はいません。また、悪いところばかりの人でもいません。友だちのよいところを意識して見て、それを積極的に言葉にしましょう。「褒め言葉」と「感謝の言葉」を津幡中の1～3年生が意識して声に出していくと、間違いなく雰囲気はよくなります。「学級も、学年も、部活動も、学校全体も」です。



『「楽しい」より、「正しい」を上置いて行動する』これは、6月の全校集会で生徒の皆さんにお伝えしたことです。周りの人がつらい、苦しい思いをしているその上に、自分の幸せ（楽しさ）を築くことは絶対にはいけないことです。「楽しい」より、何が「正しいか」を判断して行動する。どんなに楽しくても、正しくないことには手を出さない。人のことを悪く言うことは問題外、言葉の暴力です。時には、実際の暴力以上に相手に嫌な思いをさせます。悪口、人の気持ちを考えない言葉の代わりに「褒め言葉」、「ありがとう」という感謝の言葉を、みんなで伝えあいましょう。相手の気持ちが温くなる言葉を、互いに伝え合い、多様性を認め、他者を尊重し、互いを認め合えるよう努めていきましょう。

保護者の皆さまにお願いいたします。ご家庭で、お子様のよいところを認め、努力をしようとする気持ち・姿勢を積極的に褒めていただきたいと思います。学校でも、職員は生徒たちのよいところを認め、やろうとしている姿勢を積極的に褒めていきます。自信は行動することによってのみ身に付きます。家庭と学校で連携し、子どもたちの「頑張る勇気・行動する勇気」を育て、本当の「自信」につなげたいと思います。